

2017 SGH通信

【全体配布用】

No.2 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

平成29年度 SGH 事業「校外研修」に積極的に参加しよう！！

SGH 事業は、「SGH 課題研究」（1・2年生：各2単位、3年生希望者：1単位）の実施を中心として行っています。本校の「SGH」の特徴は、①学年全員で2年間取り組み、②「研究領域」を各自が選択することにあります。1年生で「研究領域」を選択する11月初旬は、文理選択で悩み、決断を迫られる時期でもあります。「SGH 課題研究」に取り組む中で、自分の興味関心に気付いていくことも大きな目的の一つなのです。

希望者で実施している「SGH課題研究3」を受講していない3年生にとっては、「校外研修」が唯一のSGHとの接点になるかと思いますが、自分の将来の進路選択を見据えて、医療系や国際系、工学系などの大学・関係機関との連携事業に、積極的に参加してくれることを望んでいます。

（いずれもバス利用で、参加費は無料です。）

以下に、今年度の計画日程を記します。なお、募集はその都度個別に行います。

【平成29年度 SGH 校外研修実施計画】

月・日	曜	訪問研修先	【参考】昨年度実績
7月28日	金	名古屋医療センター	<ul style="list-style-type: none"> ■AIDS 感染・薬剤利用に関する講義 ■DNA 析出実験 等
8月1日	火	名古屋外国語大学	<ul style="list-style-type: none"> ■学内見学（本校卒業生による） 英語ネイティブによる少人数英語レッスン
8月2日	水	地元企業	<ul style="list-style-type: none"> ■矢橋ホールディングス 上記企業での工場見学、外国人社員との交流
12月 保護者懇談期間中 に実施		岐阜大学 応用生物科学部	<ul style="list-style-type: none"> ■研究室を訪問し、教授から説明を受ける ◆生産環境科学課程（農学）研究室 ◆応用生命科学課程（農芸化学）研究室 ◆応用生物科学課程（獣医学）研究室
		岐阜大学 工学部	<ul style="list-style-type: none"> ■国際ミーティング参加 ■研究室を訪問し、教授から説明を受ける ◆太陽光関連研究室 ◆水環境研究室 ◆機械系研究室
12月17日 ～ 12月23日	日 ～ 土	海外フィールドワーク (カンボジア・ベトナム) 	<ul style="list-style-type: none"> ■5泊7日 ◆企業（ムトー精工、OKBなど） ◆病院（アンコール小児病院） ◆学校（地元小学校、プノンベン大学、シソワット高校）

平成26年度文部科学省指定スーパーグローバルハイスクール（5年間指定）

参考までに、昨年の訪問プログラムのうち、今回は夏休みの訪問プログラム参加者の感想文（一部省略）を掲載します。

【 名古屋医療センターとの連携プログラム 】

HIV ウイルスについての学習を通して、様々な視点からその理解を深めることができました。当初、私の中では HIV= 死という概念にとらわれたままでした。しかし、今回のお話や実験から、今では医療が発達し、感染された患者でも感染していない場合と同じくらいの生活ができることや、ウイルスの増加を薬によって減らすことができることを知った。医師や患者の立場に立つロールプレイングの中で、その複雑な心情や難しい気持ち、動揺を少しは理解できました。

有意義で、とても楽しい時間でした。一番役立ったのは、HIV の治療と向き合う患者さんや、医師の方の現実的な話を聞いたことです。薬剤師の方には、研究のことや薬のことを詳しく教えていただくだけでなく、患者さんが実際に服用する薬を見せていただく機会もいただきました。昼食時には、進路相談など将来を考える良い機会になりました。

【 名古屋外国語大学との連携プログラム 】

大学の施設見学や授業を通して、今まで以上に海外へ興味を持てるようになりました。少人数授業の体験では、しっかり英語が伝わるのか不安なところもありましたが、先生たちは私の言いたいことを理解してくださり、また丁寧に対応してくださいましたので楽しく学ぶことができました。

施設見学は驚きの連続で、大学という環境の充実した施設に圧倒されました。少人数授業の前は英語で話すことに苦手意識があったので緊張しましたが、いざ話してみると思っていた以上に会話ができ、自信になりました。最後には留学生の方との交流の時間がありましたが、リラックスして楽しく交流することができました。

【 地元グローバル企業との連携プログラム 】

本当に多くの外国籍の方が働いていて驚きました。出身国に関係なく、社員全員がチームワーク良く仕事をなさっている姿が印象的でした。高校生の時期が最も大切だというメッセージをいただいたので、どんな事にも挑戦し、勉強にも真剣に取り組んで充実した生活を送りたいと思います。

工場見学だけでなく、そこで勤務している外国籍の方と交流できたことが貴重な体験となりました。お互いの文化について触れあうことで「文化」というキーワードの深さや考え方の幅を広げることができました。交流の中で、何でも自分ができるようにならなければ社会人としてやっていけない、というアドバイスをいただきました。

